



鈴木浩之 無題 2013  
ミクストメディア 91.5×91.5cm

自分が作家だから  
わかることを  
大切にしたいです

気さくな雰囲気が  
いい意味で  
ギャラリーっぽくなくて、  
人が集まってきそう



左—ギャラリーオーナー、作家の増田沙織(ますだ・さおり)  
1986年埼玉県生まれ、2008年武蔵野美術学園日本画科修了  
右—作家の鈴木浩之(すずき・ひろゆき)  
1981年愛知県生まれ、2007年名古屋芸術大学大学院修了



上—手、鳥、地球をモチーフにした  
店のシンボル  
下—ギャラリーの外観

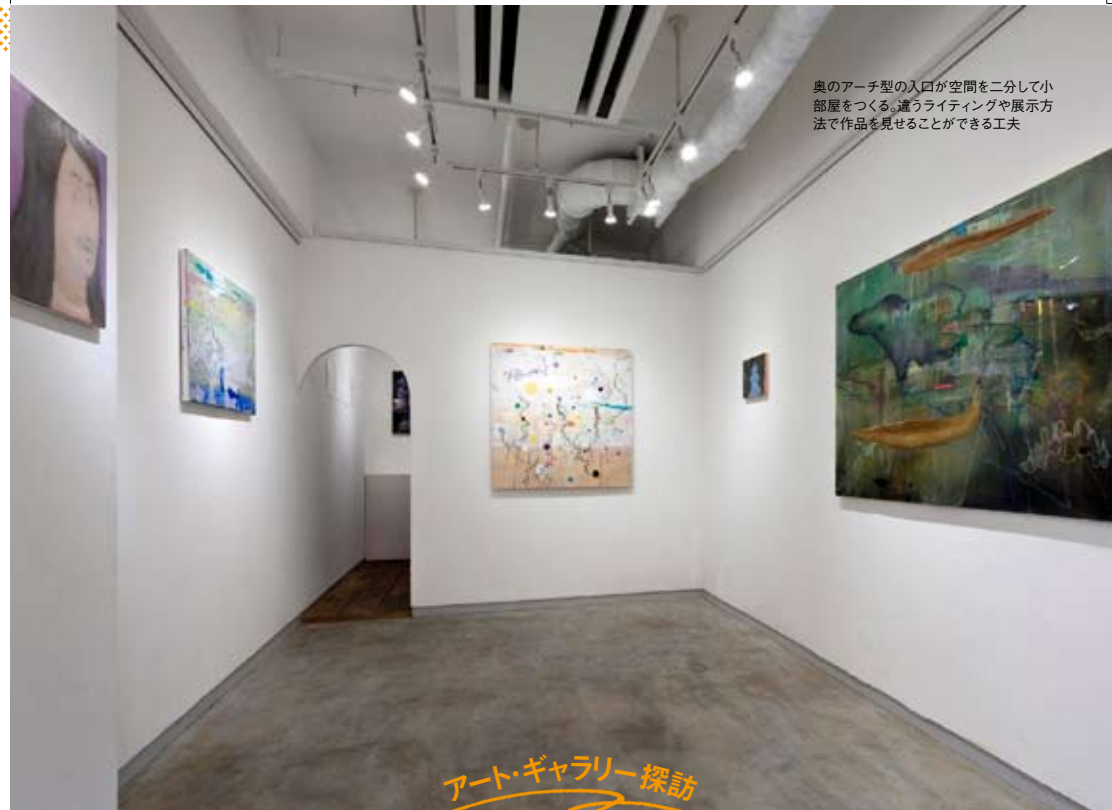
• Gallery 子の星 •  
東京都渋谷区代官山町13-8  
キャッスルマンション113  
Tel. 03-6416-5919  
12:00~18:00 火休  
<http://www.nenohoshi.com>



増田沙織 private feeling:2012.12.14 2012  
画用紙にわじろ白土、モデリングペースト、方解末 21.0×29.7cm

鮮で刺激的でした。「この場所を通してできた人と作品のつながりを広げていきたい」と増田も言う。「私は日本各地のアーティストの状況を正確には掴めていないのですが、地方で学んだ人がここで展覧会を開くと、その土地の情報を教えてくれる。私も東京のつくり手を紹介して、交流が生まれる。そうした気さくな関係づくりの場所として機能するギャラリーでありたいと願っています」。

会場に作家が在廊しないときにも、作家から聞いた言葉を忠実に来場者に伝えるよう心がけている増田。「作品を売り込むことも大事だけれど、まずは作家の側に立ったメッセージをお客さんに誤解なく伝えたい」。作家に寄り添う、魅力的なギャラリーが誕生した。



奥のアーチ型の入口が空間を二分して小部屋をつくる。違うライティングや展示方法で作品を見ることが出来る工夫

アート・ギャラリー探訪

## 人のふれあいを演出する、小さなギャラリー Gallery 子の星

北極星を意味する「子の星」という名前のギャラリーが、昨年9月、東京・代官山にオープンした。自身も作家活動をするオーナーが、つくり手の目線で選んだ20~30代のアーティストの企画展を中心に展開している。個展を開催した作家と、オーナーの声をお届けする。

### 去

る3月、代官山駅から徒歩数分のバス通りにある、「Gallery

子の星」を訪ねた。個展を開いていた鈴木浩之は、絵具同士の重なり、にじみなどを発想の原点にして、抽象的なイメージを紡いでいた。鈴木がポートフォリオを持ち込んだのは、オープン直後の昨年秋のこと。ギャラリー・オーナーの増田沙織は、「この人ならこの場所を生かして、思う存分に作品を展開してくれそう」と直感したという。のびのびと作品を展開し、いつもと違う表現を作家から引き出したいという思いが、増田にはある。その増田自身、日本画の作家という顔を持つ。

会期が始まると、来訪する人の特徴に鈴木は気付いたという。「オーナーが作家であること、そして代官山という場所の特性が、訪れるお客さんに、クリエイティブな人が多いんです。そういう人たちと会場で話ができるのが新

竹見洋一郎=文 梶原敏英=撮影 Text by Yoichiro Takemi Photo by Toshihide Kajihara 176